

カーボンニュートラル対応 第19回

前回は、私たち一人ひとりが日常生活でできるCO₂削減の工夫を紹介しました。

今回は、物流や社会インフラを支える「はたらくクルマ」が、どのようにCO₂削減に取り組んでいるのかを紹介します。

はたらくクルマのCO₂削減への取り組み

1. はたらくクルマとは？

はたらくクルマは、私たちの暮らしや社会を支える重要な存在です。

- ・トラック(物流・配送)
- ・消防車・救急車(防災・救急)
- ・ごみ収集車(環境・衛生)
- ・バス・特殊車両(公共サービス) 他

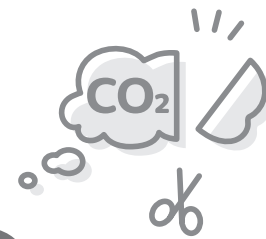
これらの車両は使用頻度が高いため、CO₂削減の効果も大きくなります。



2. 車両そのものの工夫

はたらくクルマでは、次のような技術でCO₂削減が進められています。

- ・燃費性能の向上(軽量化・空気抵抗の低減)
- ・ハイブリッド車・EV(電気自動車)の導入
- ・再生可能燃料(バイオ燃料等)の活用



3. 架装・装備によるCO₂削減

架装メーカーの工夫も重要です。

- ・アルミや高張力鋼板など軽量素材の活用
- ・作業効率を高める架装設計(作業時間短縮＝燃料削減)
- ・電動化された作業装置(電動パッカー・電動クレーン等)

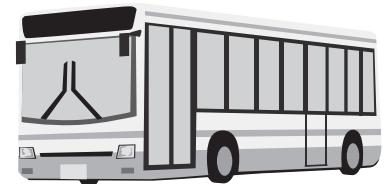
「はこぶ・つむ・あつめる」作業を効率化することが、CO₂削減につながります。



4. 使い方の工夫(運用面)

車両の使い方を工夫することも大切です。

- ・エコドライブの徹底
- ・配送ルートの見直し・効率化
- ・定期的な点検・整備による燃費維持
- ・デジタル技術を活用した運行管理



5. まとめ

- ・はたらくクルマは、社会を支えながらCO₂削減にも貢献している
- ・車両技術・架装・使い方の工夫が重要
- ・一つひとつの改善が、2050年カーボンニュートラルにつながる

次号(#4)予告
業界・会員企業の
取り組み事例を紹介予定です。

CO₂排出量削減のご協力依頼

2050年のCN達成に向け、当会も2030年に向けたCO₂排出量の目標値を掲げています。会員の皆様の排出量や省エネルギーの取組状況を把握するとともに、実効性のある削減施策の検討・推進を進めております。

今後も引き続き、各社におけるCO₂排出量削減の取組みを推進いただきますようお願い申し上げます。

ご要望・困り事など

会員にとって有益な情報を継続して発信して参りますので、掲載要望やお気づきの点がございましたらお気軽に事務局までお問い合わせ下さい。

お問い合わせはこちら ➡ <https://www.jabia.or.jp/cn/contact/>

